広報かじき

No.308
昭和55年 9月号

発行 加治木町
編集 総務課
印刷 吉屋印刷

おじいちゃん、おばあちゃんに 〝ゲートボール〟 人気バツグン

いつまでもお元気で！

◈人口 22,372（＋36） 男10,686（＋20） 女11,686（＋16） 世帯数 7,339（＋15）55.8.1現在（ ）前月比

元気で長生きを

9月15日は、敬老の日

〝敬老の日、いで湯のまちに妻といて〟――ある老人クラブの会員の方の句です。敬老の日に、妻と二人で温泉旅行をしたという、幸せな情景ですが、〝妻といて〟という言葉の中には、長い人生航路を共に歩んで来た老妻に対するいとおしみの気持ちと同時に〝二人ぼっち〟という寂しさも感じられます。

九月十五日は「敬老の日」、お年寄りは、これまで永年にわたり、社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝い申しあげます。

この日が、国民の祝日と定められたのは昭和四十一年のことですが、いまではもう秋の行事のひとつとして俳句の季題になるほど親しまれています。

この日は、多年にわたって社会に尽くして来た老人を敬愛し、長寿を祝い、また国民すべてが、自分の老後に関心を持つ日でもあります。

最近は老人のゲートボール熱が全国にひろまるなどスポーツも盛んになり、趣味や勉強に打ちこむ老人の姿も目立ちます。また〝手づくりブーム〟や〝ふるさとブーム〟で、老人のチエがヤングたちから評価されはじめているのも最近の傾向です。もちろん各種の福祉政策も進められています。

それにしても、警察庁が発表した「五十四年中の自殺者」の中でもっとも多いのは六十五歳以上の高齢者で、自殺者全体の二三・二%を占めているというのは考えさせられる数字です。

「高齢者問題の現状」(総理府)によると、六十五歳以上の老人はいま全国で一千万人以上、それが四十年後の昭和九十五年(西暦二〇二〇年)には、二千六百万人と推計されています。

敬老の日にあたり、あらためて「高齢化社会」について真剣に考えたいものです。

敬老の日によせて

町長　東　國雄

今年の夏は例年になく、涼しい夏でしたが、残暑の候になってから、暑い毎日が続いております。

さて、九月十五日は敬老の日、人生の永い尊い経験をつまれたお年寄りに、心から感謝とお祝いを申し上げます。

本町には、六五歳以上のかたが二、五八〇人おられ、加治木町の人口の一一・五パーセントになります。そのうち、八〇歳以上のかたが四六〇人、九〇歳以上のかたが四四人(男七、女三七)。最高は上木田の扇園カ子チヨさんの九九歳、男の最高は、下嶽の前畠半左エ門さんの九五歳です。

十五日の「敬老の日」には、全国各地でこの日をお祝いするためいろいろな行事が計画されているようですが、町としても当日のお祝いのしるしに、九月十日福祉センターにおいて、八〇歳以上のかたがたには敬老年金を、ねたきり老人介護人のかたには報奨金を支給します。

また金婚式二十二組のかたには記念品を贈呈します。十二日には、九〇歳以上のかたがた(望岳園九人と一年未満二人を除く)家庭を、長寿会、社協、婦人会代表、知事代理とともに慰問申し上げます。

さて長生きは人間の最高の幸福です。一年でも一日でも長生きしていただくよう、老人自身はもとより周囲のかたがたそろって健康には細心の注意をはらってください。

最後に町民みんなで、お年寄りのみなさまのご多幸をお祈りいたしましょう。

町内の最高は九十九歳

上木田の扇園カ子チヨさん

町内の九十歳以上は四十四人で次の方々です。

扇園カ子チヨ(九九)　上木田
福元ケサギク(九六)　小陣
前畠半左エ門(九五)　下嶽
花牟礼シヨミツ(九五)　井手向
隈原ナツ(九四)　隈原上
金澤清次(九四)　江湖
村下キク(九三)　東塩入
堀之内ケサミツ(九三)　新中
川畑クマ(九二)　西諏訪
森スマ(九二)　上浜
森山クミ(九二)　岩原西
佐藤キワ(九二)　江湖
篠原伊右エ門(九二)　新町
白坂キクノ(九二)　東諏訪
中島ハル(九一)　天神
郡山クマ(九一)　須崎
豊村精助(九一)　中福良後
上村ユキ(九一)　菖蒲谷下
川原ワイ(九一)　茶碗屋
上小牧モト(九一)　里ノ上
鮫島スマ(九一)　望岳園
佐藤ツマ(九一)　望岳園
下永瀬ハイキク(九一)　望岳園
内田スエ(九一)　望岳園
堀切政助(九一)　望岳園
神村喬成(九〇)　萩原
川元親恵(九〇)　札立
檜木ユキ(九〇)　垂ノ口
湯浅ミ子(九〇)　下新道
竹下ナヲ(九〇)　天神
真竹マス(九〇)　中浜
前田キク(九〇)　中浜
田方ツヤ(九〇)　東塩入
永井タカ(九〇)　中塩入
竹下アイ(九〇)　南塩入
石井エダ(九〇)　西塩入下
今村クニ(九〇)　須崎
堀之内ケサノ(九〇)　楠園
山森チカ(九〇)　中福良東
津崎イト(九〇)　高井田
岩澤ヤヘ(九〇)　西浦西
折田チヨ(九〇)　下浜
日置フク(九〇)　望岳園
川畑チヨミツ(九〇)　望岳園

国と郷土を考える

国勢調査のはなし　最終回

もうすぐ十月一日―国勢調査の行われる日です。

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象に、五年ごとに実施されているもので、今回は十三回目になります。

〈調査項目〉

男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態などのほか、現住居への入居時期、通勤・通学先と利用する交通手段―など全部で二十二項目。

〈調査員〉

調査員は、行政連絡員の方やPTA、婦人会などの役員のみなさんが大部分です。

わからない点は、調査員にご気軽にご相談ください。

調査票整理に多忙な事務局

筆記用具は黒鉛筆をお使いください

調査員は、九月二十四日から二十日までの間に、みなさんのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。

ご記入いただいた調査票は、十月一日～五日の間に調査員がお伺いしますから、その時お渡しください。

なお調査員がお伺いする時期に留守だったり、調査票を直接調査員に提出するのが困るという方は早めに役場企画課までご連絡ください。

〈調査票〉

ご記入いただいた調査票は、国（総理府統計局）に集められ、そのまま光学式マーク読取装置という機械にかけて集計されます。

この機械は、文字がわくからはみ出していたり、調査票が折れたり、曲がったり、汚れていたりすると、正確に読み取ることができない場合がありますので、十分ご注意ください。

なお、筆記用具は必ず「黒鉛筆」をお使いくださるようお願いします。万年筆やボールペンは、たとえ黒でも絶対にご使用にならないように。黒鉛筆以外は、〝読取装置〟が作動しません。

パパにママ、ボクも書いたね国勢調査

国勢調査にご協力を

10月1日は、全国一斉に国勢調査が行われます。

この調査は、行政の適切な運営に必要な基礎資料を提供する、極めて重要な調査です。

調査票は、調査員が9月24日から30日の間に各家庭を訪問し、お配りします。

記入済みの調査票は、10月1日から5日までの間にもう一度調査員がお伺いしますので、そのときお渡しください。

なお、調査員がお伺いする時期に留守だったり、直接調査員に提出するのがお困りの方は、早めに役場企画課までご連絡ください。

お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いします。

秋の

全国交通安全運動

夏の疲れにご用心

過労運転を防ごう

夏の疲れの出る秋口は、ドライバーにとっても、要注意です。

ことしは、交通事故による死者が増加ぎみ。六月末現在で、四千五十九人と、昨年同期に比べ百三十三人(三・四%)も増えています。

例年、過労による交通死亡事故は、スピードの出し過ぎ、わき見運転、酒酔い運転に次いで第四位を占めています。

秋はまた行楽のシーズン。家族そろってドライブをする機会も多く、とくに大黒柱のご主人は夏の疲れをおして、行楽のコンダクター兼ドライバーとして大活躍しなければなりません。

過労運転による事故を起こさないよう、くれぐれもご用心。

ドライバーにとって

過労は病気も同じ

病気で高熱の人が自動車を運転したら——考えただけで、ゾッとします。

過労は、熱やセキこそ出ませんが、ドライバーにとっては、病気そのものと考えていいでしょう。

熱がでると、思考力や判断力が急速に失われていきますが、過労も同じで、思考力、判断力がにぶり、とっさのことに対応できなくなります。

つまり、過労運転は、恐ろしい交通事故と背中合わせなのです。

ところで、疲労には大きく分けて肉体疲労と精神疲労とがあります。

肉体疲労は、身体を激しく動かしたり、スポーツをした時などの疲労で、体を休めることでとれます。

精神的な疲労は、心のわだかまり、心配ごとなどが原因で、体を休めるだけではなかなか疲れはとれません。

このような二種類の疲労が複雑に重なり合って、過労となるのです。

昭和五十四年中に起きた過労運転による交通事故は四千三百二十三件で、その直接原因のほとんどが居眠り。つまり、過労からついウトウトして、重大な事故をひき起こすというわけです。

1日6時間、200キロ

運転{時間/距離}の目安です

ドライブをするとき、あなたは何を基準に、目的地、コースなどをきめますか。運転時間、それとも距離——。

よく「一日に五百キロも走った」とか「十時間休みなしで運転した」などの自慢話を聞きます。

これでは、過労を背負って、綱渡りをしているようなもの。ひとつ間違えば、間違いなく大事故です。

では、何を基準にすれば安全なのでしょうか。

宇留野藤雄・日大教授(交通心理学)は「一日の運転時間は六時間、走行距離は二百キロが目安」といっています。

ただし、これは道路事情、混雑状況で、多少数字は違ってきます。

一般道路の場合、二百キロを六時間で走るとすれば、平均時速は三十三・三キロ。これなら疲労もあまりたまらずドライブが楽しめます。

一日の運転の目安は〝六時間と二百キロ〟をお忘れなく。

とくに夏の終わりから秋にかけては、疲れが出て体調をくずしやすい時期です。自動車を運転する人は、つぎの点に十分注意しましょう。

〈ふだんの注意〉

▽病気や体調がくずれていると思ったら、運転しない。

▽ドライブ旅行の前夜は、夜ふかしせず、体調をととのえる。

〈運転中の注意〉

▽無理なスピードは、事故のもと。スピードの出し過ぎに注意する。

▽長距離を運転するときは、疲れなどの自覚症状がなくても、二時間に一回くらいの割合で、自動車を安全な場所に止め、休憩する。

▽運転中、疲れや眠気をもよおしたら、直ちに安全な場所に自動車を止め、仮眠したり、車外に出て軽い体操などをする。

▽シートベルトは必ず着用する。

錦江湾をマダイの宝庫に

百万匹を放流

知事等松原沖に

須崎河口西沖に放流する関係者

県では錦江湾をマダイの宝庫にしようと、八月一日、須崎河口西松原沖にマダイの稚魚三万五千匹を、鎌田知事や東町長等約五十人が参加して放流しました。

これは「とる」漁業だけでなく大量に放流し適切な漁場管理を行い、「つくり育てて、とる」という栽培漁業で、この日が初日の放流となり錦海漁協の協力のもと行われました。

放流された稚漁は、垂水市にある県栽培漁業センターで五月に人工フ化したものを、牛根等三カ所のイケスで六―八センチに育成した稚魚で、この日は、錦海と牛根両漁協地で実施されました。

13センチ以下は捕獲禁止

この稚魚育成のため放流点から千メートルの範囲（標識ブイ）内は保護区域と定め、八月一日から十一月三十日まで、一切の漁業禁止となります。

また、この栽培漁業が成功するため山川町長崎鼻と佐多町立目崎を結ぶ線の湾内では、全長十三センチ以下のマダイの採捕は禁止されました。

遊漁者皆さんのご協力をお願い

放流に参加した鎌田知事右と東町長

郡山利春氏左と蓬原春香氏

竹内親男氏

町消防団長 竹内親男氏勇退 後任に郡山利春氏就任

町消防団長竹内親男氏（六六）は、任期満了となり、七月三十一日付けで勇退されました。その後任として郡山利春氏（五八）が決まり、第十二代消防団長に就任されました。

町消防団では、この退任式と就任式を、九月一日の防災の日、町営運動場で規律訓練のあと行いました。

竹内さんは、昭和八年三月、消防手拝命以来、中央分団の分団長から町消防副団長、そして団長まで実に四十七年間、消防業務に貢献され、大きな功績をあげられました。また、五十一年春には、晴れの叙勲（勲六等単光旭日章）を受彰されています。

この勇退に伴い、郡山利春副団長が団長に、西別府分団蓬原春香分団長（五三）が副団長に、東光義西別府副分団長が分団長に副分団長には、東照男班長がそれぞれ昇任しました。

統制小作料が十月から変ります

昭和四十五年十月一日の法一部改正により、農地の賃貸借規制の緩和について多くの措置が講じられましたが、その一つとして、その日以降に賃貸借が設定されたものについては、当時者の自由な契約によって小作料を定めることができるように改正され、それ以前の小作地については、期間を十年間と定め統制小作料を継続することにしていましたが、昭和五十五年九月三十日（本年限）で期限がきれて、廃止されることになります。

従って、今後の小作料については、貸手と借手が話し合いの上、お互い納得のできる額で契約することになります。

そこで農業委員会では、貸手と借手の利害関係が生じないよう、三年ごとに小作料協議会を設けて標準小作料を定めることになります。

本年は、その改正の年になりますが、十二月中には標準額を定めますので、話し合いの参考としてください。

詳細については、地元の農業委員か、又は事務局におたずねください。

錦江小の児童会

校区内お年よりを訪問

錦江小学校（石井可榮校長、児童数六八六人）では、昨年度、県のボランティア育成協力校に指定されて以来、児童会を中心に全校あげてボランティア活動の推進を図っています。

二年目の今年は〝ひとりになっても積極的に活動できる子供を育てよう〟と一学期は「小さな親切運動」を中心に自分の身のまわりのささやかな親切を育てることに力を入れてきました。そして夏休みを迎えるにあたり、校区内に住んでいるお年よりの訪問を計画しそれぞれ分担して十三人のおじいちゃん、おばあちゃんの家を訪問しました。これは、昨年の十一月、老人ホーム「望岳園」を訪問した時、涙を流して喜んでくださるお年よりの姿に感動し「お年よりをたいせつに」とか「お年よりに親切に」という言葉を百回唱えるより、一回の訪問の方がずっと重みがあるという教えを受けていたからであります。できるだけ多くのお年よりを訪問したかったが、初めての試みでもあることで、独り住まいのお年寄りや病気がちのお年寄りの中から十三人を選び、それぞれのお年よりの家に近い子どもを各学年一名づつの六名で、組を編制。この中に教職員がはいり全員参加することにしました。プログラム編成や演技の練習は、六年生をリーダーとした子どもたちが自主的に計画をたてました。

夏休みにはいり、出校日の八月一日、学級指導が終った後いよいよ出発。校長先生の励ましの言葉をうけ、それぞれのお年よりの家へ向かった。

お年よりの家には、婦人会や理事のお母さん方が待っていてくださった。この方々の橋わたしで、あいさつから自己紹介などスムーズに進み、子どもたちの緊張もすぐにほぐれました。

演技は六年生の司会で進められていく。昔の地域子ども会でやっていた学芸会を想像していたお年よりもあったということだが、それには及ばないものの、子どもたちの工夫は、私たちの考えていたものより多彩でありました。朗読、歌、演奏、ゆうぎをはじめ、肩たたき、手づくりの紙芝居などもとびだし、お年よりも孫のような子どもたちの様子に「ありがとうね。じょうずね。」などと拍手を送っておられました。お年寄りの中には久しぶりに話し相手を得て、昔のことをなつかしく語ってくださった方もおられ、子どもたちの訪問そのものを喜んでくださいました。子どもたちは、この日の感想を次のように書いてます。

…おばあさんに話しかける勇気は、なかなかできませんでしたが、笛をふいたり、歌をうたったりしました。おばあさんはとても喜んで、涙を流しておられました。初めは、はずかしくてもじもじしたりしていましたが、おばあさんがとても喜んでくださったので、ほんとうにうれしいでした。（六年田上美智子）

…初めは緊張していたけれど、話しだすと、それもとけてひと安心、進行が五年生でまとめ役が私。演技するものもそれぞれ自分で決め、みんながんばった。おばあさんはとても喜んでくださった。自分のおばあさんだというのに、私はこんなことをしたのは初めてだ。ボランティアに参加して良かったなと思った。（六年藤崎由美）

子どもたちは、やはりお年よりの喜ばれる様子に「やってよかったな。」という感動を持ってくれたようです。この訪問をきっかけに、自分のまわりのお年よりへ、元気の良いあいさつのひと言が、どんどんできるようになれば、そこから小さなつながりの輪が広がっていくものと信じています。

※この原稿は、ボランティア担当の栗山俊一郎先生からいただきました。

訪問先で歌のプレゼント

永年のホコリ洗い流す

原田耕夫翁の頌徳碑

お盆の前日に職員が清掃

町郷土館の前庭に建てられている「原田耕夫翁頌徳碑」が、永年のほこりやコケのためによごれ、碑文もはっきり読めないようになっていましたが、お盆前の八月十二日、郷土館職員の手によって、これらのよごれがすっかり洗い流され、館を訪ずれる人達の足をとめています。

原田翁は慶応元年加治木の反土に生まれ、若いころから実業家を志し、やがて第百四十七銀行や鹿児島貯蓄銀行、鹿児島紡績会社、鹿児島商弘銀行などの重役となり加治木電気会社の創設に努力する一方、町会、郡会議員として地方公共のために尽力。

翁は平生から「町村の発展は自治教育の振興に因るところ大なり。これが推進に寄与せん―」との志が厚く、昭和四年に町基本財産として一万円を提供。昭和九年には加治木高等女学校敷地設営費として一万円を寄付。さらに昭和十年教化施設としての郷土館建設を提唱され、その建設費として一万円を贈られています。

郷土館は昭和十二年三月に着工、同年九月完成、現在は図書館として使用されています。

町では、前後三万円の寄付をいただき、本町発展の基礎強化をされた功績が大きいことから、翁の美徳を後世に伝えるため、昭和十四年十月ゆかりの深いこの地に翁の頌徳碑を建立したものです。

参考＝昭和十年度の町予算額は十六万三千六百十八円（「柁城」第八十五号による）

頌徳碑の清掃をする職員

カネと太鼓の音でにぎわった〝太鼓踊り〟

うら盆明けの伝統行事、本町の太鼓踊りが今年も八月十六日勇壮に行われ、太鼓とカネの音でにぎわいました。

午前八時花火を合図に、木田反土、西別府、小山田の四大字から九七人の踊り隊が春日神社境内で次々に奉納。十時から仮屋馬場で打ち上げを披露し、つめかけた観衆を楽しませました。

踊り隊の中には四歳の小ガネ打ちから女性武者、そして吉左右踊のドラ打ちを演じた森木清さん八十六歳もおり、沿道の拍手を浴びていました。

午後は、町内の目抜き通りを「キャンキャン」「ドンドン」と勇ましく、汗だくのパレード。見物客を楽しませました。

春日神社境内で　勇壮に奉納踊り

出審前の小ガネ打ち

つぶ揃いづらり

町畜産品評会

昭和五十五年度町畜産品評会は八月二十八日、辺川の鎮守小跡で開催されました。

この日は、各大字から選ばれた肉用牛四十六頭、肉牛十二頭、種豚十六頭計七十四頭が出品され、審査が行われました。

これに入賞した牛十一頭、豚十頭が九月二十五日から行われる郡共進会に出品されます。

各部門ごとの成績は次のとおりです。

▽大字別成績

肉用牛

①木田②小山田③西別府

肉牛

①小山田②木田

種豚

①反土②小山田③木田

▽チャンピオン賞（農委会長賞）

肉用牛＝楠元正男（西別府）

肉　牛＝市野親義（小山田）

種　豚＝柚木　満（反土）

▽ロータリークラブ賞（会長賞）

各種目優等一席のみ九点

▽個人別成績

肉用牛一部

優等＝①榎谷貞則（西別府）②岩穴口修（木田）

肉用牛二部

優等＝①楠元正男（西別府）②前畠春雄（同）③榎谷早男（同）

肉用牛三部

優等＝①岩穴口秋夫（小山田）②犬童武男（日木山）③穂森親志（木田）

肉用牛四部

優等＝①大脇修身（木田）②内村実夫（小山田）③中野光雄（辺川）

肉用牛五部

優等＝①扇園敬二（木田）②小宮路政一（辺川）

肉牛去勢の部

優等＝①市野親義（小山田）②大脇修身（木田）

肉牛雌の部

優等＝①市野親義（小山田）②下楠薗正昭（木田）

父系郡の部

犬童武男（日木山）大宮路五男（辺川）東百治（西別府）

系統牛の部

内村実夫（小山田）

種豚の部

優等＝①柚木満（反土）②末吉君子（小山田）③柚木満（反土）

農協長からメタルを受け、にっこり

閉店や留守の番に

「でんわばん」を!!

加治木局の電話に「でんわばん」が新しいサービスとしてつけられます。

「でんわばん」は閉店や休業、留守、就寝等の伝言をあなたに代ってお知らせするサービスです。

伝言例は十種類あります。その目的に適した文例を自由に選ぶことができます。

プッシュ式の電話でもダイヤル式の電話でも利用できます。

使用料は毎月五百円で債券、工事費は無料です。

詳しいお問い合わせや申し込みは加治木電報電話局第一営業課へ電話三―一〇〇〇（着信無料）

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで受けています。

町民みんなで時間を守りましょう！

力いっぱい演技

町消防団操法大会

私たち住民の命と財産を守る消防団、町内には中央、錦江、小山田、西別府、辺川、中野の六分団があり活躍しているが、この消防団の使命である操法競技大会が七月二十九日、加治木中学校グラウンドで行われました。

この日は、午前八時のサイレンを合図に竹内親男団長以下団員百六十人が集合、大会に先立ち消防定例表彰の伝達が行われ、功績章（二十年）の吉村次男小山田分団長等十五人に表彰状が東町長から伝達された。また新入団員と幹部昇任四人に団長から辞令が交付された。

開会式では、町長や団長、議長らが「消防団の使命である操法大会である。練習の成果を発揮し終始がんばってください」とあいさつがあり、西別府分団東輝男班長の力強い選手宣誓で小型ポンプの部、自動車ポンプの部ごとに競技が始まった。

大会は、猛暑の中熱戦が展開され、西別府分団が小型の部、自動車の部共に優勝に輝き、姶良伊佐支部大会に町代表として出場することに決まりました。

成績は次のとおりです。

小型ポンプの部
優勝＝西別府分団、二位＝中央分団、三位＝辺川分団

自動車ポンプの部
優勝＝西別府分団、二位＝中央分団、三位＝小山田分団

小型ポンプの部で優勝した西別府分団

飯ごうで初めて飯炊き

青少年の健全育成をめざし

リーダー研修会

夏は、青少年が自然に親しみ、みずからを鍛えるよい季節です。

町子ども会育成連絡協議会では八月十八日、十九日の二日間、西別府一帯で、町子ども会インリーダーの研修会を行いました。

この研修は、集団生活を通じて規則正しい生活を体験しながら、リーダーとしての任務や、資質の向上をはかる目的で実施されたもので、研修に参加したリーダー七五人は、共同生活をしながら友情の輪を広げました。

この日は、あいにくの雨日和りとなり、キャンプファイヤーができず残念でした。しかし、永原小の体育館で、キャンドルサービスに切り替えゲーム等を楽しみ、子ども会への意欲をあらたにしていました。

ボランティア活動で

県優良団体表彰

みろく子ども会

町内木田弥勒子ども会は、昭和五十五年度県優良少年少女団体として、県教育委員会から表彰を受けました。

これは、永年にわたり、自主的な活動を続け、明るい地域社会づくりや体力づくりに成果をあげているとして、表彰団体に選ばれました。

表彰は、七月に行われた県青少年少女団体リーダー研修会の席上で行われました。

団体表彰を受ける子供会代表

弥勒子ども会は、常に「礼儀を正しくする。きまりを守る。みんなと仲よくする。」の三つを目的にし、公民館や神社、史跡の清掃、お年寄りをいたわる敬老活動等を積極的に続けており、地域住民に喜ばれています。

婦人少年室協助員

石野キクさんに

感謝状

働く婦人や年少者の保護及び労働家族の福祉向上に、永年貢献している婦人少年室協助員、石野部落の石野キクさん（六四）に労働大臣から感謝状が贈られました。

この協助員とは、その地域において社会的信望があり、婦人青少年問題に深い関心と理解をもち、積極的に協力しようと熱意のある方に、労働大臣が委嘱するものです。

石野さんは昭和四十五年から婦人少年室協助員として委嘱を受け加治木と溝辺を担当。この間、婦人少年行政の推進、協力に多大な功績をあげられ、その功労に対し贈られたものです。

親子男子ソフト女子ラケットボール大会

優勝はソフト城東・ラケット錦江一

真夏の太陽がジリジリ照りつける八月三日、町教育委員会主催の町内、地区対抗親子ソフトボール女子ラケットボール大会が、町営運動場で開催されました。

この日は、町内全地区からソフト、ラケットボールに出場、試合はリーグトーナメントで一勝したチームが決勝トーナメントに進む方式で、ソフトでは、城東、城西城南、城北、錦江一、錦江二が決勝トーナメントに、ラケットでは城西、城南、錦江一、錦江二、錦江三、竜門、永原の七チームが進み、熱戦が展開されました。

ホームランをねらいフルシング

ソフトは、小学生、中学生、親それぞれ三人ずつの編制で、ラケットは今年度から、小学生、中学生、親それぞれ四人ずつ十二人の編制で行われ、決勝戦ソフトでは城東が錦江一を七―五で敗り、ラケットでは、錦江三と錦江一が同点となり、抽せんの結果錦江三が優勝しました。

なかには33対18というケタはずれの試合もあり、選手、審判、応援とも汗だくの大会となりました。

成績は次のとおりです。

ソフトボール

優勝＝城東、二位＝錦江一、三位＝城北

ラケットボール

優勝＝錦江三、二位＝錦江一、三位＝竜門

暑さに負けずラケットボール

町小・中学校水泳記録会

今年の町内小・中学校水泳記録会は、七月三十日、永原小学校プールで行われ、新記録七個が生れました。

昨年までは、この大会は町営プールで催していましたが、町内の小中学校を巡回して水泳人口を増やそうと、町教育委員会が本年から巡回方式にしたものです。

この日は、町内の小・中学校から四百六十人の子どもたちが記録に挑戦。炎天下のもと、かけつけた親たちや、児童、生徒の前で水しぶきをいっぱいにあげ元気よく泳ぎました。

新記録は次のとおりです。

▽小四以下男二五㍍平
北園博美（錦）二四・一秒

▽小五女五〇㍍自
下小牧美保（錦）三九秒、鬼塚千代美（錦）三九秒

▽小五・六女五〇㍍バタ
下小牧美保（錦）五一・三秒

▽小五・六男女一〇〇㍍平
木之下恵（錦）一分四六・六秒

▽小六女一〇〇㍍自
織田ゆかり（錦）一分三五・六秒

▽中男五〇㍍バタ
朝倉倫幸（加）三一・八秒

好記録を期待して〝ドボン〟

チビッ子ソフト大会

優勝は諏訪チーム

町チビッ子ソフトボール大会が町商工会青年部（松田逸郎部長）主催で八月十七日の災天下、町営運動場で行われました。

この日は、町内の小学生が優勝を目指し、十七チーム、二百人が出場。日ごろの練習の成果を発揮しました。

編制は、小学四年から六年生まで各三人づつで、子どもたちは、真夏の太陽がジリジリ照りつける中、親たちの声援をうけ、元気いっぱいに熱戦を展開、決勝では、諏訪チームが高井田チームを敗り優勝に輝きました。

成績は次のとおりです。

優勝＝諏訪、二位＝高井田、三位＝春日

転居届けについて
郵便局からお願い

転居をされるときは、郵便局にも転居届けを提出してください。用紙は、局の窓口、町役場の窓口に備付けてあります。必要事項を記入し、ポストに投かんされるか局の窓口にお出しください。ポストへ投かんされる場合、八月から切手をはらずにそのまま差し出すようになりました。

この転居届けにより一年間は、旧住所あての郵便物を新住所へ転送します。この場合、小包郵便物や書留とした通常郵便物については転送料が必要となりますので、知人等、主な通信先の方へは、転居した旨、なるべく早く連絡されるようお願いします。

婦人のコーナー

楽しかった夏休みも無事終わり元気に登校している子供たち。今は運動会を前にしてハッスルしていることでしょう。おかあさん、食事や休養など健康面の管理は大丈夫ですか！

みんなの力で 結核をなくするために 今年も複十字 シール運動にご協力を!!

先に実施されたレントゲン検診は、みなさん受診されたでしょうか？

今年も八月から十二月まで、結核0を目指して複十字シール運動が展開されています。

この運動は、結核や肺ガン、その他の呼吸器疾患をなくして、健康で明るい社会をつくるための事業資金募集と、これらの病気についての理解と関心を高めてもらう目的で行われるものです。全国の人々の善意に支えられ前進し、広まってきた国際的な運動です。

加治木町では今年も結核予防婦人会が中心になりこの運動をすすめております。

無料でレントゲン検診を受けたわけですが、そのしるしとして複十字シールを求めていただき、健康の輪を広げるひとりになってほしいと思います。

今年のテーマは「乗り物」です。

複十字のマークと共に

「しあわせに」「すこやかに」のシールが、手紙や小包の封に、年賀状などのはがき（裏面に一枚）にはってある事で、あなたの知人友人に結核予防の心を伝えます。

特に年賀状に使用すると好評です。お試しください。

なお、

- ●シール小型（四面）　五十円
- ●シール大型（五十面）　千円
- ●シール小型と封筒四枚組合わせ　一五〇円です

十複十字シール

生ゴミは、水切りをよくしてその日の朝に出しましょう。

きれいな水は心をなごませます

美しい川や海

わたしたちの健康を守るため ぜひ粉石けんを使いましょう!!

好評でした!! 母親セミナー

七月から八月にかけて地域の婦人会の呼びかけで母親セミナーが開かれました。校長先生や警察の少年係の刑事さん、民生委員さんや公民館長さんと多くの方々のご協力とご指導ですばらしい成果があげられたと思います。

この母親セミナーを通して、子どもを育てる事のむずかしさ、楽しさ、重要さ…を改めて痛感し、今の子どもの教育、家庭教育のあり方を見つめなおすことでした。

〈八つの言葉と八つの心〉

1 〝おはよう〟という　明るい心。
2 〝ありがとう〟という　感謝の心。
3 〝すみません〟という　反省の心。
4 〝おかげさま〟という　謙虚な心。
5 〝ハイ〟という　すなおな心。
6 〝ごくろうさま〟という　いたわりの心。
7 〝いらっしゃいませ〟という　歓迎の心。
8 〝させていただきます〟という　奉仕の心。

これはある会場で教えていただいた一つです。ぜひ私たちの家庭教育の中で、地域の中で生かしたいことだと思います。

竜門句会

闇深き港の波や夏祭　大迫　スミ
誰かれと言葉かはして盆踊り　古江　重美
曇る日の激痛肩に冷夏なる　恒吉　斗南
雲の峰負へる山々影深く　高木　正男
雨意兆す風鈴の舌もつれ鳴る　川崎　黒兎
涼風や小波揺らぐ夜振の火　井之上透山
アイスクリーム口に含めば島噴きぬ　田代　俊泉
従姉妹達面ざしよく似て魂祭る　三浦　ゆう
鋏入れ秋空透けりらかん槇　上野　光
遺骨なきままに古りたる墓洗ふ　横山　江南
空蟬と並びて蟬の鳴き居たり　宮脇　思川
月光の身にまつわりつ橋涼み　加藤　白柳
八月の驟雨が洗ふ樟並木　鶴田　耕

たばこは町内のお店で買いましょう。

にぎやかに夏の祭典!!

第14回夏まつり大会

ドラエモンやまことちゃんも登場

◇町商工会主催の第十四回町民夏祭りは八月一日◇
□から二日までの二日間、花火大会やパレードそ◇
◇して歌謡ショー等とにぎやかに行われ、会場や◇
◇沿道に町内外から集った約四万人の観衆を楽し◇
◇ませました。◇

花火や歌謡ショーで昼間の疲れをいやす

初日の一日目は午後七時から加治木港の会場で、日本舞踊や豪華な花火が夜空いっぱいに咲きほこり、真夏の暑さを吹きとばしました。また、カラオケブームとなった今日、この大会が行われ十人のアマチュアがのどをきそいあいました。会場では子どもたちの人気もの夜店が立並び、親子連れや、チビッ子たちでにぎわっていました。

二日目は、ことしも柁城小から踊り隊がパレード。午後五時に県警のブラスバンドを先頭に出発。新道、端山、蒲生田通りから会場の港まで、柁城小、錦江小鼓笛隊につづき、おそろいのユカタやハッピ姿の踊り隊が二十九団体、一千八百人がハンヤ節やオハラ節にあわせパレード、つめかけた沿道の目を喜こばせました。会場では県警のブラスバンドによる演奏会のあと、各流派による日本舞踊があり、花のステージ歌謡ショーでは、角川博が得意ののどを舞台いっぱいに披露しました。また、昼間も福祉センターで町内のお年寄りにものまね等サービスし人気をよびました。

町商工会をはじめ、協力くださった各関係者のみなさんご苦労さまでした。

得意ののどを披露する角川 博

子供たちは出店でキンギョすくい

地区民をよろこばせた〝竜門祭〟

恒例となった小山田青年会（市来原誠会長二十一人）主催による「竜門祭」が、八月九日、竜門中学校グラウンドで、校区内外から多くの観衆を集めて、にぎやかに催されました。

これは「青年会が手づくりのプログラムで地区民に夏の夜を、楽しく喜んでもらおう…」と実施しているもので、今年で十一回目を数えます。

今年は、舞台も商工会から夏祭り用の旧舞台を譲り受けてもらい立派な舞台ができました。その舞台で盆おどりやのど自慢大会、またコント、ヒゲダンス等、趣向をこらした出し物で、観客からやんやの拍手を浴びていました。そして司会も、本職顔負けの名司会ぶりで祭りを進行させ、終始にぎわいました。

チビッコも踊りに参加、竜門祭

第二次 自衛官を募集

自衛隊国分募集事務所では自衛官（二等陸海空士）を次のとおり募集しています。

△**応募資格**
採用予定月の一日現在十八歳以上、二十五歳未満の日本国籍を有する者

△**身分及び給与**
特別職　国家公務員
俸給　月額　八八、四〇〇円
賞与（ボーナス）は年間（三月、六月、十二月）四・九ヵ月分支給されます。

△**志願手続**
志願はいつでも受付ます
志願書類は町役場又は自衛隊国分募集事務所（電話〇九九五四―五―一八三六）へお問い合わせください。

おしらせ

55年後期 技能検定試験

昭和五十五年度後期技能検定試験を次の要領で実施します。

これは、職業訓練法に基づいて技能を一定の基準で検定し、「技能士」の称号を与える国家検定試験です。

▽**実施職種**

建築配管、建築大工、型わく施工、農業機械整備、ガラス施工、防水施工、和裁、冷凍空気調和機器施工、鉄筋組立て、みそ製造、園芸、塗料調色、構造物現図製作建築製図、機械製図、車両整備、印章彫刻、時計修理、カーテン施工、紙器、段ボール箱製造、義肢装具製作、寝具製作、帆布製品製造、合板製造、洋菓子製造、和菓子製造（二十六職種）

▽**受付期間**

十月一日～十三日

▽**受検申請書・受検案内**は町役場の都市計画課にあります。

▽**問い合わせ先**

県庁職業訓練課（電話〇九九二㉖八一一一内線二四八二）または職業能力開発協会（〒八九二鹿児島市小川町一の一六県小川町分室電話〇九九二㉖三二四〇・㉒四〇八二）

うぶ声

七月二十一日から八月二〇日受付分

出生者　保護者　部落

松下信一　広利　萩原
嵩川美由紀　義則　竹下
日高圭一朗　輝雄　蔵王団地
馬迫いづみ　廣憲　小陣
森永拓郎　久志　田中
森永真吾　久志　田中
藤井義久　裕　萩原
福留理恵　賢一　岩穴口
西山味希　茂司　西江口団地
畑本圭亮　昭男　西江口団地
米満恵子　弘夫　豊町
江夏利光　利博　垂ノ口
江夏利定　利博　垂ノ口
中山敬太郎　正行　菖蒲谷下
吉岡聡司　俊二　高井田
丸岡勇一　幸文　新中
徳田文香　芳隆　柳田
安永千佳　洋海　上木田
山口裕美　みゆき　川原
野村まゆみ　晶一　西反土前
原田強平　正男　西江口団地
山本晃子　洋　岩原東
日高耕作　正喜　東吉原団地
木ノ下美幸　幸雄　須崎
高畠由美　耕三　上木田
荒井新平　憲治　岩原西
阿久根夏美　勝　吉原
東恵介　一弘　萩原
横山美代　孝一　西塩入上
山下なつみ　茂樹　蔵王団地
泉潤二　武裕　竹下
白尾由香　正光　向江町
土師茂義　一馬　春日団地
今村伸弥　稔　下新道

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　下新道　林陽平（夕子77）
三万円　向江町　飯田学（藤江27）
一万円　岩穴口　前田イカ（栄蔵75）
二万円　上東木　鶴田貞義（康昭38）
二万円　楠園　末永義章（ユキ73）
五万円　田中　金丸豊子（春夫57）
一万円　井手向花牟礼秀男（ケサミツ78）
二十万円　蒲生田　川畑喜一（ヨシ82）
一万円　於里　竪山イク（秀国67）
一万円　溝辺町　森永武男（キク76）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　上東木　鶴田貞義（康昭38）
五万円　田中　金丸豊子（春夫57）
五万円　蒲生田　川畑喜一（ヨシ82）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　岩穴口　前田イカ（栄蔵75）

▽…七月二十一日から八月二十日受付分までのご寄付を掲載いたしました。

老後を楽しく過すため 国民年金の保険料を貸付

町国民年金協議会では、国民年金の保険料を納期までに納められない方のために保険料の貸付事業を行っております。

同保険料は、毎年増額されるために本年度は特に総会において貸付金の枠を増額することに決定しました。

被保険者皆さんの協議会です遠慮なく御利用ください。

▽**貸付を受けることのできる人**

国民年金協議会の会員として会費を納入して引き続き町内に居住する人。

▽**貸付の対象者**

国民年金の被保険者。

▽**貸付金の限度額**

保険料の一ケ年分に相当する額を超えない額。

▽**貸付金の利息**

貸付金の利息は無利子。

▽**保証人**

保証人一人を立て保証人は借受人と連署して債務を負担する。

▽**保険料の納付**

借受人は貸付金の全額を保険料としてただちに納付する。

▽**貸付金の返済期間**

貸付を受けた当該年度内とする。ただし貸付を受けた本人が返済できない場合は保証人がその残額を一年次内に返済する。

▽**その他**

その他詳細については役場国民年金係にお尋ねください。なお貸付金の枠の制限がありますので早目に申し出てください。

老後を楽しく過すために一人の未納者もないよう心がけましょう。

今月は国保税三期の納期です。